

杉並区区制施行80周年

10年後の杉並、私の夢

杉並区基本構想小中学生作文コンクール入賞作品集



杉並区区制施行80周年

10年後の杉並、私の夢

杉並区基本構想

小中学生作文コンクール入賞作品集



SUGINAMI CITY

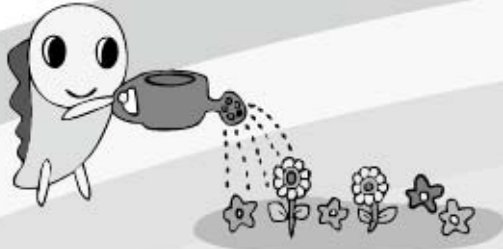


杉並区区制施行80周年



目次

◆ 作文コンクールによせて	杉並区長	田中 良	1
◆ 作文コンクールによせて	杉並教育委員会教育長	井出隆安	2
◆ 審査を終えて	審査委員長	小松崎浩	3
◆ 表彰式写真			4
◆ 小学生の部			6
区長賞	十年後の杉並区の夢	井荻小学校 六年	7
優秀賞	理想の杉並区	桃井第三小学校 五年	7
	十年後の杉並区	荻窪小学校 五年	8
	私のぞむ町	新泉小学校 五年	9
	十年後の杉並	新泉小学校 六年	10
	十年後、杉並がこんな町になったらいいな	和泉小学校 五年	11
佳作	人と自然にやさしいくらし	杉並第七小学校 五年	12
	未来の想像 杉並の町	東田小学校 五年	13
	「みんなが住みやすい町・杉並」	桃井第三小学校 六年	14
	十年後の杉並の理想	桃井第三小学校 六年	15
	下水道を止めて!!	井荻小学校 六年	16
	未来の杉並区	堀之内小学校 六年	17
	十年後の自分	和田小学校 六年	18
	笑顔あふれる杉並のまち	済美小学校 六年	18
	十年後の未来	和泉小学校 六年	19
		伊藤亜海	
		吉本優子	
		渡邊真由	
		藤木まな	
		須藤 陸	
		高木 杏	
		青木泰樹	
		寺林佑馬	
		小田 薫	
		嶋田夏美	
		平林勇斗	
		鶴見冴耶	
		中島聖斗	
		伊東小町	
		伊藤大器	



人にやさしい杉並のまち

天沼小学校 六年

飯田 未夢

20

◆ 中学生の部

区長賞 未来の杉並

井荻中学校 一年

中 詩織

23

優秀賞 私の夢と私の望む杉並

東田中学校 三年

野中 成美

24

十年後の私と杉並へ故郷へ

井荻中学校 一年

末松 愛菜

25

さらに魅力のある街へ

井荻中学校 二年

野口 大智

27

近未来の杉並がこんなまちであってほしい

神明中学校 一年

岸本 ゆい

28

近未来・十年後の杉並

神明中学校 二年

吉本 晶

29

佳作 引き継がれる人の輪

天沼中学校 二年

島田 清香

31

十年後の杉並

神明中学校 一年

村上 麻帆子

32

笑顔がたくさん・みんなに優しい杉並

神明中学校 二年

渡部 菜々子

33

十年後、杉並のまちで私は

神明中学校 三年

佐藤 百合

34

私の夢

松ノ木中学校 三年

関根 有紀

35

笑顔の溢れる街

松ノ木中学校 三年

庭野 雪音

36

十年後の杉並・私の夢

大宮中学校 三年

宮本 匠太郎

38

変わらずに当たり前のことを

西宮中学校 一年

辰己 怜史

39

あいさつがあふれる街へ

西宮中学校 二年

石森 志歩

40

十年後の杉並

西宮中学校 二年

鈴木 光太郎

41

◆ 杉並区基本構想小中学生作文コンクール概要

◆ 杉並区基本構想（10年ビジョン）

44

作文コンクールによせて

平成二十四年三月、杉並区は、十年後の杉並区の目指すべき将来像を

『支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並』

とした杉並区基本構想（10年ビジョン）を策定しました。

平成二十四年度は、基本構想スタートの年であり、区制施行八十周年の節目の年でもあることから、次代を担う子どもたちの将来の夢や十年後の杉並区に対する意見を把握するとともに、家族ぐるみで区政への関心を高めてもらうことを目的として、区内在住・在学の小学校五・六年生と中学生を対象に作文コンクールを実施いたしました。その結果、千九百八十二点もの応募があり、審査委員会での審査により、三十二点の作品を入賞作品として選定しました。

作文には、みどりの保全、災害対策、地域の絆づくりなど、小中学生の皆さんが日々の生活の中で感じている地域の課題やそれに対する自分の意見がしっかりと書かれていました。杉並区を愛する気持ち、杉並区をさらに住みよいまちにしていきたいという思いがひしひしと伝わってきて、大変うれしく、また心強く感じました。

私は、こうした夢や思いをしっかりと受け止めて、子どもたちが将来にわたって杉並区に住み続け、地域の担い手として大いに活躍してもらえよう、基本構想の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

平成二十五年一月

杉並区長 田中 良



作文コンクールによせて

今年度、杉並区は、新たな基本構想とその実現に向けた具体的な筋道となる総合計画・実行計画のもと、新たな区政のスタートを切りました。

教育委員会では、これらの計画と整合を図るとともに、社会の様々な変容を踏まえて策定した「杉並区教育ビジョン2012」のもと、今後十年を見据え、

『共に学び共に支え共に創る杉並の教育』を目指し取り組みを始めました。

ビジョンでは、目指す人間像を、「夢に向かい志をもって、自らの道を拓く人」、「かわりを大切に、地域・社会・自然とともに生きる人」と掲げています。子どもたちが自信をもって人生を切り拓いていくためには、困難に出会っても粘り強く取り組み、くじけずに立ち向かう強い意志とたくましく生きる力を身に付けることが必要です。そのような力を育むために、学校、地域、教育委員会が一体となつて、ビジョンの具現化に取り組んでいるところです。

この度の「杉並区基本構想小中学生作文コンクール」では、区内の小中学生などから多くの作文を寄せていただきました。一人一人の作文を拝読し、受賞の有無にかかわらず、次代を担う子どもたちの区政に対する意見は、杉並区の未来を創るための素晴らしい提案であり、その思いや情熱を心から頼もしく感じました。この作文コンクールに当たり、友達や家族からいただいた助言、学校の先生の指導に心から感謝いたします。

これからの杉並区を担う子どもたちには、この作文コンクールを機に、杉並区に対して当事者意識をもち、様々な課題に対して、自分だつたらどうするか、将来はどうしていくべきなのかなど、主体的に、また前向きに考え続け、杉並区の発展に貢献していただきたいと思います。

今後とも、杉並区教育委員会は、子どもたちの学びと成長について目標を共有し、その目標に向けて、より質の高い教育を創り出してまいります。皆様の温かい御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成二十五年一月

教育長 井出 隆安



審査を終えて

表彰を受けられました小学生、中学生の皆さん、保護者の皆様、誠におめでとうございます。この度、作文コンクールで審査委員長を務めさせていただき、皆さんが応募された作文から私自身も大変勉強させていただいたと思っております。

杉並区に学ぶ皆さんの作文を読ませていただき、読んでいる自分の心がわくわくしているのを感じました。それは、しっかりとした未来への考え、夢をもち、さらに、その自分の考え、夢が、言葉をうまく遣って表現されていると感じることができたからです。また、その中には、大人では到底考え付かないだろうというものもあり、感心させられました。さらに、皆さんの書いた作文は、未来への夢を忘れかけた私たち大人にも力を与えてくれるものでした。このように、皆さんの作文に表現されている思いに触れることができ、心がわくわくしてしまったのです。

しかし、コンクールですから審査をしなければなりません。どの作文も素晴らしく、ほとんど差がないために、審査には大変苦労しました。応募された作品の全てを表彰したいという思いを、私だけでなく審査員全員がもったことと思います。皆さんが杉並区の未来について書いた作文、その中に表現されている考えや夢は書いてただけで終わらせてしまっただけではありません。皆さんが作文に書かれた未来の杉並区を現実のものとするよう、これからもしっかりと学び、努力を続けていってください。今から十年後の杉並区制施行九十周年の年には、皆さんが書かれたことが、現実のものとなっているかもしれない。私はそのことをとても楽しみにしています。今回の審査をとおして、小学生、中学生の皆さんがもっている未来への素晴らしい可能性を改めて感じることができました。皆様の、今後の成長と活躍を期待いたします。

平成二十五年一月

審査委員長

小松崎 浩

(荻窪中学校)



杉並区基本構想小中学生作文コンクール表彰式

日時 平成 24 年 12 月 16 日

場所 区役所中棟 5 階 第 3・4 委員会室



杉並区基本構想 小中学生作文コンクール 表彰式

表彰状授与

